

最新 2025 年 6 月号より抜粋

横浜華僑総会第 17 回会員代表大会に向け 僑団懇親会開かれる

駐日中国大使館の趙宝鋼新任公使 横浜の華僑華人団体と交流

1 日領事開催される

一般社団法人横浜華僑婦女会会員総会開催 会長に黄巧玲氏

小紅の会会員総会開催される

家長大会開催

廣東同郷会第 3 1 届理事会が発足 朱銘江新体制が始動

都筑区散策とランチ会

山手中華第 26 届卒業生 5 0 周年記念 クラス会

2025 年度始業式開催さる

保育園小紅 入園進級式

ウェブベルマーク支援のお願い

同文、大同 ―僑校の校名― (下) 楊仕元

訃報

横浜華僑総会第 17 回会員代表大会に向け 僑団懇親会開かる

7 月 2 日(水) ロイヤルホールヨコハマにて午後 6 時から開催される横浜華僑総会第 17 回会員代表大会に向けて、協力団体などを招いた僑団懇親会が中華街の「菜香新館」で開催された。

謝成發会長のあいさつに引き続き各僑団代表による活動状況が紹介された。

また、17 回会員代表大会に向けて、会員代表候補、理監事候補の推挙を各僑団に依頼し、引き続き横浜華僑総会への協力をお願いした。

参加者は伝統の広東料理を楽しみつつ各テーブルごとに親しく交流を深めあった。



駐日中国大使館の趙宝鋼公使 横浜の華僑華人団体と交流

中国駐日本大使館趙宝鋼新任公使が 5 月 21 日（水）陳魏公使参事官兼総領事を伴い、横浜山手中華学校に赴き、横浜の各僑団代表と親しく交流した。

交流会の冒頭に、張岩松校長の解説を交えたスクリーン画像による横浜華僑の歴史が語られた。続いて各僑団代表による団体の歴史や活動が披露された。

その後一行は張校長の案内で校内の施設や授業を見学し、中華街を散策して横浜の華僑華人のバイタリティに触れた。



1 日領事館開催される

中国駐日本大使館領事部は 6 月 16 日（日）横浜山手中華学校で「一日領事館 IN 横浜」を二年ぶりに開催し、パスポート更新などの業務を行った。

当日は教職員、校友生、家長会などのボランティアが参加した。

指紋認証機器も設置され、60 名を超える会員がこのサービスにあづかった。高齢者や幼児を抱える人々にとって、東京の領事部に出向かずに横浜で手続きを済ませられ、来場者には大変好評で、次回開催が熱望された。



一般社団法人横浜華僑婦女会会員総会開催 会長に黄巧玲氏

一般社団法人横浜華僑婦女会は、2025 年 5 月 26 日、2024 年度第 6 期定時会員総会を横浜中華街の菜香新館で開催した。

当日は総務部の吉岡朋子氏が司会を務め、議長に文化部部长 林絵津子氏と福利部 馬双喜氏が選ばれた。黄巧玲会長は開会のあいさつの中で、「この 2 年間は、コロナ禍で活動が出来なかったことを取り戻すように理事及び会員の皆さまの多大なご協力のもと、販売活動や散策の会、ちまきづくりや友好団体との交流など積極的に活動することが出来た。ありがとうございます」と述べた。

その後議事に入り、第 1 号議案の 2024 年度事業報告を羅明珠総務部長が行い、続いて決算報告を張愛玲財政部長が行った。その後質疑応答が行われ、賛成多数により承認可決された。第 2 号議案の 2024 年度事業計画（案）を李桂子福利部長が行い、予算書（案）を張愛玲財政部長が行い賛成多数で承認可決された。第 3 号議案では理事監事の改選を審議し、賛成多数で了承された。また 2024、年度中の新入会員が紹介された。

最後に黄巧玲会長が退任理事の紹介をし、長きにわたり婦女会を支え、当日出席された理事の楊順花氏、周淑雯氏、葉泰美氏、事務局の新谷瑛華氏へ感謝の花束が贈呈された。

第 1 回理事会で以下の役員が選出された。

会 長：黄巧玲

副会長：李桂子（福利担当）、張愛玲（財政担当）、羅明珠（総務担当）、
林絵津子（文化担当）

理 事：磯一加、何優、陳貴香、鄭妙香、潘蘭英、符順和、馬晶、馬双喜、繆桂馨、葉鳳英、吉岡朋子、梁旺群、蔣孝英（新）、堤愛好（新）、雷秀玲（新）、李杏麗（新）

監 事： 陳碧蓮、張雅齡（新）



小紅の会会員総会開催される

一般社団法人横浜華僑小紅の会第 10 期会員総会が去る 6 月 17 日（火）18 時 30 分より保育園小紅にて開催されました。当日は小紅の会会員 29 名中出席者 15 名と委任 10 名で会が成立し、2024 年度事業報告、決算報告がなされ、2025 年度事業計画及び予算案が承認され、理事の改選が行われました。なお、本園は 2027 年に設立 60 周年を迎えます。新理事会はこれに向けて事業計画作成に取り組みます。

2015 年度より 2024 年度まで副理事長を務めた李香玳女史が今大会を以って退任されました。李香玳女史には「小紅托児所」の発足の始めより、副理事長を退任されるまで保護者として、役員として長きにわたりご尽力いただきました。小紅の運営では、財政面の基礎を固めることが出来、保育の現場でも働く母親たちへの親身な提案をたくさん頂きました。

閉会后、第 11 期第 1 回理事会が開かれ、理事長、副理事長を以下の通り選出いたしました。また、李香玳女史には顧問として「小紅の会」を支えて頂きます。

李香玳女史退任の辞：

小紅託児所を立ち上げて今日まで 58 年間保育園の事業にかかわりました。振り返ってみると多くの仲間たちや保護者の皆さまに支援され支えられて今日があることに気づかされ感謝の念でいっぱいです。職員の皆さまにも心から「ありがとう」を伝えたいです。

1967 年小紅託児所を立ち上げてから、今日まで目まぐるしく時代が移り変わりました。8 年前「待機児童を解消するために国が補助金を支給して保育園事業を推奨した」ことを受けて様々な条件をクリアして「保育園小紅」は「認可保育園」として承認を受けました。

ところが数年後、子どもの減少が増大し、保育士不足も相まって経営不振の事業者が増えているという。「保育園小紅」もその影響を受けています。しかしながら、保育事業はどんなに人口が減少しても女性の社会参加と子どもの集団保育のためには必ず必要な事業だと私は考えます。

「保育園小紅」も社会の変化とニーズをキャッチして、保育園の在り方については常に考え研究し改善を図っていった欲しい。そしてこれからも多くの人たちから愛され喜ばれ感謝される小紅であり続けるように願っています。

小紅の会の理事・監事

名誉顧問： 劉燕雪

顧問： 李香玳

理事長： 佐久間愛玲

副理事長： 轟立東

理事： 于美恵子、野沢智子、張本百合、高橋あゆみ、
雨宮由美、楊文恵、謝麗卿

監事： 葉泰美、鄭浩志



李香玳顧問（右）と轟立東副理事長（左）

家長大会開催

横浜山手中華学校家長会（譚優矢会長）は 6 月 14 日に授業参観にあわせて家長大会を開催した。当日は 139 名が参加し各議案が滞りなく承認された。

冒頭で繆雪峰学園理事長と張岩松校長が家長に対して日頃の感謝と現状の報告をした。

譚優矢会長は今年度の方針として例年の活動に加え学校図書についてより注力すると述べ、学生達の読書習慣の意識向上と環境整備を呼びかけた。（家長会）



廣東同郷会第 31 届理事会が発足 朱銘江新体制が始動

一般社団法人廣東同郷会は、6 月 8 日（日）、東京・上野の蓬萊閣で今年度の定期会員大会（社員総会）を開催し、同会会員総数 295 名（含委任状）の過半数以上が出席した。朱銘江氏が議長に選出され、議事に入った。

大会では、過去 1 年間の活動を総括し、2024 年度の財務諸表や 2025 年度の予算・活動計画などの案を可決したほか、第 31 届の役員が正式に決定した。

同会は今年初めに行われた第 31 届役員選挙で、新理事 15 名と監事候補 3 名が選出され、新理事の互選により会長に内定した朱銘江氏がこの日正式に会長に就任した。

副会長には符順和、徐永贊の両氏が留任したほか、新たに尹星氏が副会長に就任した。

また、長年会長職にあった陸煥鑫前会長は終身名誉会長に推挙された。

廣東同郷会は 1965 年 10 月に社団法人として法人格を得て正式に発足し、今年で創立 60 周年を迎える。同会は長年にわたり、中日友好交流の促進、日本に居住する広東華僑、華人およびその家族らの福祉の向上と交流の促進を活動を行っている。

新会長に就任した朱銘江氏は「同郷会の素晴らしい伝統を引き継ぎ、広東の人々の特質である『務実、開放、包容』の精神、つまり「堅実で、開放的で、包容力のある」広東精神を発揚し、会員らと協調し力を合わせて会を運営していきたい」と抱負を語った。

都筑区散策とランチ会

5 月 1 日（木）横浜華僑婦女会では「都筑区散策とランチ会」を実施した。

18 名の参加者がセンター北駅で集合し、徒歩で大塚・歳勝土遺跡公園に向かった。公園に足を踏み入れるとタケノコが見えたり、更に進むと弥生時代にタイムスリップしたような感覚になり、竪穴式住居の復元を見学し、都筑区民家園に立ち寄り、端午の節句の飾り物や五月晴れの大空に舞い上がるこのぼりをバックに、記念写真を撮影したりした。横浜歴史博物館に移動し、神奈川県の歴史をガイドさんの説明を聞き学んだ。その後は日本料理の「木曾路」に会場を移してのランチ会。普段なかなかお話しができない会員同士の交流ができ、美味しいお料理をいただき至福の時間を過ごすことができました。

（婦女会文化部 潘蘭英）



山手中華第 26 届卒業生 50 周年記念 クラス会、

本年、私たちは横浜山手中華学校を卒業して五十年の節目を迎えました。こうして今日を迎えられるのも、厳しくも温かくご指導くださった老師の皆さま、そして困難な時代の中で私たちを支え、見守り続けてくれた家族の存在のおかげです。深く感謝申し上げます。

5 月 28 日菜香新館に 9 名が集まりました。北は函館、西は大阪、まだ現役で活躍する仲間が多いこともあり、今回は東京・横浜を拠点とするメンバーが中心でした。懐かしい思い出話に花が咲き、時間を忘れるひとときとなりました。次回は週末に開催し、より多くの仲間と再会できるよう計画を立てるとともに、函館や大阪への遠征も視野に入れています。

卒業時 36 名ほどのクラスでしたが、現在半数ほどの連絡が途絶えております。本記事がご本人や関係者の目に留まりましたら、ぜひご一報ください。懐かしい思い出を語らい、これからの人生について語り合いましょう。再びみんなで集まり、笑顔溢れるひとときを共有できることを願っています。
(呉祈高)



華文教育の「新たな 100 年」を目指して 178

2025 年度始業式開催さる

4 月 7 日午前、横浜山手中華学校は 2025 年度の体育館で始業式を盛大に行った。

午前 10 時、司会の教導部長陳柏老師が新入生の歓迎を宣言。第 85 届小学 1 年生と 79 届中学 1 年生が拍手で歓迎された。小・中学新入生は整然とレッドカーペットを踏み、体育館に入場した。荘厳な「義勇軍行進曲」が会場に響き渡り、始業式が始まった。

まず、張岩松校長が格朗老師、川松秀斗老師、馬墨老師の 3 人の新しい先生を紹介し、彼らを温かく歓迎した。次に、張校長は 2025 年度のクラス担任と教科担任のスケジュールを発表した。

そして、張校長が次のような温かいスピーチを行った。「第 85 届小学 1 年生と 79 届中学 1 年生を温かく歓迎した。つづいて、本校の 127 年の歴史を振り返った。横浜山手中華学校が世界でも重要な学校であることを強調した。孫文先生と梁楷錫先生によって創立され、華僑が設立したバイリンガル学校で常に華僑の精神を堅持しています。本校は時代の最先端を走り続け、今日では日本のみならず全世界の中国語教育の重要な指標となっています」。加えて歴代の保護者の皆様からの当校への信頼とご支援に熱い感謝の意を表した。
(山手中華学校)



小学一年生入場

中学一年生入場



保育園小紅 入園進級式

4月1日（火）、2025年度保育園小紅の入園進級式が開かれ、この春卒園した子どもたちが植えたチューリップが小紅の子どもたちを出迎えてくれました。

今年度は0歳児クラス3名、1歳児クラス6名のおともだち合わせて9名の新入園児を迎え、進級児21名を含め、30名の保育がスタートしました。

入園進級式には、新入園児の保護者の方々が参加し、進級児がお祝いの歌「チューリップ」「拍拍手」を元気な声で歌って歓迎しました。

翌日より、新入園児の慣らし保育と進級児の新しいクラスでの生活が始まりました。子どもたち一人ひとりに寄り添い、一日も早く新しい環境に慣れ親しむよう、職員一同保育に努めて参ります。（小紅）

ウェブベルマーク支援のお願い

横浜山手中華学校家長会（譚優矢会長）はこれまでのベルマークに加えてウェブベルマークの推進に注力している、昨年度の点数ランキングは神奈川県横浜市中区1位（29校中）神奈川県1位（1,357校中）全国5位（25,487校中）となった。ウェブベルマークは、ベルマーク教育助成財団が主催する活動でオンラインショッピングでポイントを貯め、そのポイントを学校の教育備品購入に活用できるサービスです。登録はベルマークのサイトからお願いいたします、横浜華僑総会の協力団体の皆様にも横浜山手中華学校を指定校にいただきご支援いただければ幸いです。（家長会）



ウェブベルマークホームページ

同文、大同 — 僑校の校名（下） 楊仕元

さて、《礼記》の『礼運』篇の冒頭で、かつて孔子が魯の国のために慨嘆したのを、そばに居た弟子の言偃が「なぜそうため息をつくのか」と尋ねたところ、孔子曰く：「大道之行也、天下為公、選賢与能、講信修睦、……是謂大同」と。この内容を書き下し文ふうにすると次のようになる。大道（古代、理想的な治世の道）が行われるときには、天下は公のものとなり、賢者・能者を推挙し、信を重んじ睦を修む。故に人々は自らの親を親と（して敬愛）するのみならず、自らの子を子と（して痛愛）するのみならず、老人には天寿を全うできるように、中壮年には社会に尽力できるように、幼少児童が健やかに成長できるようにし；老いて連れ合いを亡くしたものを、幼くして父を亡くしたものを、老いてなお子無きものを、障碍あるものは、いずれも扶養する；男子には職があり、女子には落ち着き先がある；財物を地に棄てる（無駄）を嫌うもそれを我が物にすることなく、人々は公のことには全力を尽くしてなお私利を謀らない；従って、邪悪な謀は起こらず、窃盗、謀反、他人を害することは起こらないので、表門を閉じることはない。これを（理想社会の）大同と謂う。

これはまるっきり福祉社会なのではないだろうか。「大同は、中国古代において理想社会に対する一種の呼称であり、西側の「ユートピアに相当する。つまり、中国のユートピア思想である。この思想には極めて長い淵源があって、さらに古く《詩経》の中の『碩鼠』篇（紀元前六——一年以前）に、貴族搾取者を大ネズミにたとえたとともに、この大ネズミから遠く逃れて「彼の楽土へ適（ゆ）かん、「彼の楽国へ適かん」、「彼の楽郊へ適かん」という叫びをあげたのである。『碩鼠』はこれまでに残された大同空想に関する最も古い資料の一つとされている。

「天下為公」、「天下大同」はいずれも儒家の經典《礼記・礼運》篇に由来し、中国古代の儒家学派が社会政治思想を詳解する際に、明確に掲げた概念である。天下為公の原意は、天下は公衆のものであって、天子の位は賢者に伝えて子には伝えるべきでないことを指している。それは、公平、公正、公益は個人の利益よりも上にあるという理念を強調し、また、

人々が個人利益を超越して社会全体の利益に関心を寄せ、以て社会の調和と進歩を実現し、その後さらに社会の理想に対する構想と追求となるように、と唱道している。

「天下為公」は一種の価値理念として、いつも儒家学派憧れの「大同」社会状態とともに互いに関連する概念として、互いに依存し、表裏をなしている。孔子は、自らの生きている社会の秩序はすでに崩壊し（礼崩楽壊）、「天下為公」から「天下為家」（君主の世襲）へ変わってしまったと指摘した。これをもとに、孔子はそれ以前の社会形態を肯定しつつ総括して、夏・商・周時代の「小康」社会と、五帝（黄帝、顓頊、帝嚳、唐尧、虞舜）時代の「大同」社会という二つの理想的社会形態を練り上げた。孔子はまた、小康社会は「天下為家」時代の理想的な社会形態であるとも認めている。

「天下為公」、「天下大同」の含意や解釈については、各王朝時代でも実践の中で絶えず豊かにされ、発展を遂げてきた。この社会理想は、先秦時代においてはそれこそ百家争鳴でさまざま議論が沸いていた。例えば、墨家は「兼愛」、「非攻」の思想を、道家は「無為而治」の思想、法家は「法制」の思想を掲げていたように。

少々強引を承知で、一足飛びに近代になると、一八四〇年の第一次アヘン戦争以後、中国社会は次第に封建社会から半植民地半封建社会へと変わった。これは中国史上いま一つの激変の時期でもあった。

康有為は《大同書》を著し、未来の大同社会は生産手段公有制を基礎として、搾取のない社会であると想定した。そこでは、生産力が高度に発達し、人びとの物質文化生活水準が非常に高く、国境が消滅して全世界が一つの「公政府」のもとに統一され、戦争が無くなる。政治的には立憲君主制を意図していたが、貴賤・等級がなく、男女は完全に平等となり、家庭はすでに消失して、父権、夫権による抑圧は存在しない、というものであった。

辛亥革命によって共和制を成し遂げた孫中山の大同理想の主な内容は以下のようである。土地は国有、大企業は国営、しかし、生産手段私有制は依然として存在し、資本家と雇用労働者の両階級も引き続き存在する。生産力は高度に発展し、人びとの生活は遍く改善される。国家は、教育、文化、医療保健等福祉事業を行い、公民による享受に供する、と。

さらに現代においては、二〇二三年六月二日、習近平総書記は文化伝承発展座談会での重要講話で、中華優秀伝統文化の数多の重要な要素を列挙し、先ず初めに言及したのが、「天下為公、天下大同」の社会理想であった。党の第一八回大会以来、習近平総書記は多くの場面で「天下為公、天下大同」を使って、中国人独特の精神世界を詳説し、中華文明古来の、偏見の解消、調和共生の美しい社会への憧れさらには関心について世界に向けて表明した。

さて、神戸、横浜の華僑学校両校の校名、「同文」と「大同」の由来について調べてみた結果のあらましと、現代へつながるその理念について、多少乱暴のそりを覚悟で述べてみました。両校とも震災、戦災に遭遇して灰燼に帰したこともあったが、それでもしぶとく華僑自らの力で再建して、華僑子弟のための教育を続けている。由緒ある校名を戴く（或いは戴いていた）両校はともに、教育理念として端的に言えば、中華文化（書同文の漢字文化、大同世界の理念）の継承、中日友好事業への貢献（居住国での和諧社会）を掲げており、時代や環境の変化に適応しながらもこの精神を貫いていくものと、信じてやまない。（完）

訃 告

嚴任煥蓉女士（嚴健初氏 9 届生令夫人、嚴肖姬女士 34 届生ご母堂）

5 月 23 日逝世されました。享年 85 歳。告別式は 6 月 1 日、船山博善社にて執り行われました。

謹んで御冥福をお祈りいたします。